

授業科目名	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（応用）(35110)		
時間割担当	熊田岐子		
実施期	通年	単位数	4 必修 選択
曜日・時限	水・5		

授業の目標・概要

卒業研究に向けて論文や制作活動を行う。自らの専門分野についての研究をまとめ、形にすることによって、自らの人間教育学に関する学びの集大成とする。

本ゼミナールでは、英語教育学、異文化、英文学等の英語に関する研究を各自進めていく。ここでは、各学生が決めた研究を進め、授業における発表と討論により、客観的な視点から論じる訓練を行う。最終的には、各学生が自身の研究をまとめていく。

学習の到達目標

各学生が先行研究調査を行いながら、理論構築を行い、実験・調査を実施する。最終的には、各自の研究をまとめることを目標とする。

授業方法・形式

担当教員から示されたテーマ、各学生が興味を持つテーマについての発表をした上で、討論を行うという演習形式をとる。

授業計画

- 第1回 インTRODクシヨン 研究とは何か
- 第2回～15回 先行研究に基づく理論構築・調査
- 第16回～28回 各学生が提出する理論・調査内容チェック、討論、研究指導
- 第29・30回 各学生が行う研究に対する評価

成績評価の基準

授業貢献20%、発表・レポート80%とし、以上から総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

授業外に研究を各自進めていくことが必要となります。先行研究探し、理論構築、調査実施等を進める必要があるということです。

履修上のアドバイス及

これまで学修した内容や方法の定着はもとより、身に付けたアカデミック・スキル (Academic Skills) を活用して行くことが大切です。これからの教員の専門性を磨くために学び、子どもたちの未来に役立つ研究のステップアップを期待します。

教材・教科書

授業内で指示する。

参考書

授業内で適宜紹介する。